

# 第36回 心身健康科学サイエンスカフェ

## 中年期女性の発達課題 “generativity”（世代性）について



人間総合科学大学心身健康科学科 助教

鈴木 淳子 先生

平成29年9月8日(金) 18:00 - 20:00

場所：人間総合科学大学 東京サテライト  
(東京・御茶ノ水)

参加費： 500円 受付は17:30からです

### 演者からひとこと

わが国は、他に例を見ない速さで少子高齢化が進行しており、現在の高齢化率（人口に占める65歳以上の割合）は26.7%と年々上昇を続けています。そうした中、中年期の精神的な悩みと高齢期になってからの認知症発症のリスクには関連があったこと、女性が中年期に経験する心理的ストレスは精神健康に影響を及ぼし、高齢期になってからのアルツハイマー型認知症のリスクと関連していたこと、中年期にストレス症状を知覚したものは、高齢期になってからの身体障害と関連していたことなど、中年期に経験したストレスが後に高齢者になってからの心身の健康に関連があることが明らかにされ、中年期の精神健康の重要性が示唆されています。一方、発達心理学者のErikson（1957, 1997）は、中年期の発達課題として、次世代を育むことへの関心を意味する“generativity”（世代性）をあげました。世代性は中年期で最も高く、精神健康と関連していることが明らかにされています。中年期を健やかに過ごし、高齢期をよりよく生きていくために、「世代性」について考えてみます。

人間総合科学大学 東京サテライト  
(東京・御茶ノ水)

JR 御茶ノ水駅から徒歩4分

お問い合わせ、お申し込み

人間総合科学心身健康科学研究所

E-mail [jshas@human.ac.jp](mailto:jshas@human.ac.jp)

☎ 048-749-6111

webからも申し込めます

